

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼田西3丁目10-14
電話 (243) 0141

16年10月17日

米山候補・三週間前のゼロからの出発

短期間で「競り合い」に持ち込む

新潟日報は投票日一週間前の選挙情勢を「森、米山氏競る」と報じました。急きよ立候補した米山候補が短期間で追いつけています。それだけ原発再稼働ノ、医療・福祉の充実、野党共闘への期待が大きいことの表れです。

自民党「想定外の接戦」に締めつけ躍起

道理かかげられず争点隠し

自民党は急きよ、安倍首相らが協議、「電力業界などオールニッポンで対抗する」よう経団連に申し入れ、国会議員・党本部幹部が業界引き締めを次々来県しています。しかし、「再稼働の説明をすれば信用されない」「再稼働にふれなければ争点隠し」と言われると、有権者に争点隠しの姿勢。国会議員・党幹部も街頭演説はしないで、もっぱら団体訪問のようです。自民党と一緒に森候補を推薦した公明党も「さっぱり動きがない」「自民党県連内はバラバラだ」との声が聞こえてきます。

民進党も連日、国会議員が応援

黒岩・菊田県選出国会議員も応援演説

民進党も大物国会議員が連日来県、日曜は共産党市会議員と民進党国会議員と一緒に宣伝カーにのって街頭演説。見ていた民商会員がビックリ。民主党県連も街頭演説に打って出ています。

官邸に負けないで、選挙に行こう

投票率アップを！自民党は上げない作戦

自民党は「投票率が上がったら負け」と判断しているようです。首相官邸が乗り込んだの全国注目の県知事選挙になりました。「原発再稼働は認めない」「医療・介護・福祉の充実」を掲げる県政を米山候補勝利で実現しましょう。

「みんなで選挙に行こう」「官邸に負けない」
の声をまわりに広げましょう。

日程

- 一〇月一八日 共済会三役・理事会
- 一〇月二二・二三日 全婦協総会（岐阜）
- 一〇月二七日 財政部会

全国の経験を「力」に

一〇月八・九日の二日間、全商連「相談活動・拡大運動」全国交流会に高橋士郎副会長（塗装業）、宮村事務局次長・中村事務局員の三名で参加させていただきました。

一日目の全体会ではパネルディスカッションが行われ、四名のパネリストより様々な取組みの報告がありました。中でも岐阜北民商の森下常任理事が報告されていた国保料



の減免申請での実績は、新潟での減免申請において非常に参考になりました。岐阜では市長の権限で減免しているそうで、新潟の篠田市長にも本来あるべき「国保」を今一度考えてほしいと、訴えて行きたいと思えます。

神奈川県連や静岡県連からは「納税緩和処置の積極的活用を」との提案がありました。消費税が八%になり一括で納付できない方が増えています。口約束の分納では税務署の担当者が変わった途端一括納付を迫られたりします。昨年の四月にできた「申請型換価の猶予」を活用し、延滞金の減額や、免除を勝ち取っているそうです。

二日目は五つの分科会に分かれ交流を行いました。私に参加した「経営要求の相談」では、各種補助金の獲得までの経過や、振興条例設立に向けた自治体交渉などの経験が交流されました。経営相談や補助金申請では民商はコンサルタントではないので、具体的なアドバイスをするのではなく、自分の商売を見つめなおし、考えるためのお手伝いをするのが重要だと考えさせられました。また、経営相談や経営塾などには、普段運動には参加していない若い会員さんも興味を持つようで、民商全体の高齢化問題にも効果的ではないかと思えました。

今回の交流会での経験を、事務局活動に生かせるよう奮闘していきたいと思えます。

（中村）

「これから民商して」

～各方面で若い人の集まりが～

一〇月五日、青年対策部会議が開かれ、今後の若い世代を中心とした活動を行うために、集まりの開催やその費用についてなどが話し合われました。

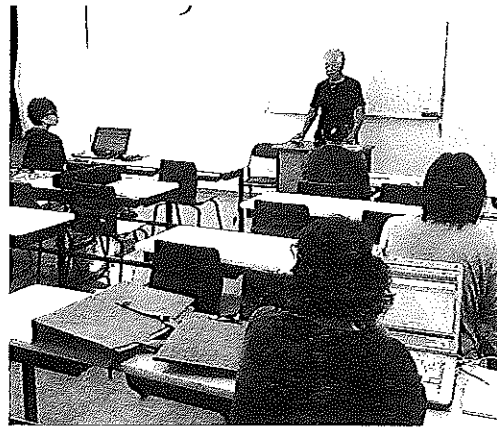
青年部では各地区で業者青年交流会の報告会を兼ねた集まりを計画していますが、そこには青年部だけでなく青年部OBや支部役員なども参加し、親会とのつながりをつけるための集まりにしてもいいのではないかとの意見が出ました。各地区での報告会の日程は、決まり次第、民商ニュースやチラシなどでお知らせいたします。

もともと元気な松浜支部に！

松浜支部では、会員同士の絆を深め、横のつながりの強い支部にしようと、若手の集まりを計画しています。

第一回目は役員二名の他、若手五名が集まり、家族ぐるみで参加できるようなレクリエーションなどの案が出され、家族に相談し次回持ち寄ることとなりました。

若手の婦人が集まって開催している記帳学習会でも中村支部長（飲食業）が「母ちゃんたちにも後押ししてほしい。みんなで集まり、今よりもっと元気な松浜支部にしましょう！」と話されました。



知り合ひごとから始めよう！

西ブロックでも山田副会長（医薬品販売）を中心に、若い世代や入会五年未満の会員の集まりを計画しようと、市橋副会長（建築業）や担当事務局員と話し合いました。

冒頭、山田副会長より、運動や拡大はひとまず横に置いておき、まず「知り合ひになる」ことから始め仲間になろうと提案がありました。市橋副会長も賛同し、新潟市全域だとなかなか集まりにくい、各地域、集まりやすい場所ですべていきたいと思いますと声がありました。

早速、日時と場所を決め、訪問の計画も立てました。西区以外の方も大歓迎！ 興味のある方は非ご連絡を。

一〇月二八日 場所 ピザ酒屋MOJA（詳細後日）

県と懇談【国保の制度改革】～要求を県にあげよう！～

新商連は一〇月六日、新潟県福祉保健部・福祉指導課と、二〇一八年度からの「国民健康保険の県単位化」について懇談を持ちました。新潟県からは高橋士郎共済会理事長が参加し、日本共産党の渋谷明治県会議員も同席しました。

冒頭、県職員から制度改革についてのこれまでの概要が説明され、現在は市町村と「国保運営方針」の素案を討議していると話がありました。また、今後は県の運営協議会で素案を討議し、二〇一七年中に運営方針を決めたいと述べました。

参加者からの「現行でも国保料が高すぎて払いきれない人が出ている。市町村の減免制度や一般会計からの繰り入れは残す事ができるのか？」「情報開示してほしい」との質問や要望に「現在各市町村が行っている減免制度を一律に無くすことはない」「一律に一般会計からの繰り入れがダメとはならない」「一定の段階で県民に知らせ意見を求める事は必要」などと話しました。

さらに参加者からは「県が何らかの形で支援しない限り納付金を納めることすら難しい市町村が出てくるのは間違いない」との指摘が。県は「市町村の意見をよく聞き、出来るだけ要望に応えたい」と回答しました。



地域振興局 県税部 移転のお知らせ

法人の県民税の申告や
建設業許可での納税証明など
手続きする庁舎が移転します

業務開始 10月11日（火）

新住所

〒950-8716

新潟市東区竹尾2丁目2-80

（旧 新潟東工業高校）